

**** 次回の古紙回収は 12月4日(日) の予定です ****

学校評価アンケート自由記述への回答

保護者アンケートの自由記述欄に書かれていた内容から、関心の高かった事柄や学校の説明が必要な事柄を取り上げ、寄せられた主な質問や意見についての学校の考え方を紹介します。



■制服・服装

あずま中は、卒業後も役立つ社会性を生徒に身に付けさせるとともに、授業を受ける際に必要な適切な緊張感を自ら持たせるため、平成26年度に体育着での学校生活から制服での学校生活に変更しました。このことについては毎回意見が寄せられています。意見の多くは制服に反対するもので、指摘されているマイナス面については、生徒や保護者の意見や要望を聴きながら検討し、改善すべきところは改善してきました。運用の仕方に対応できるものもあり、暑さ対策、寒さ対策などは、学校から印刷物でお知らせが出ていますのでご確認ください。体育着での学校生活と比べて、授業への取り組みが良くなり、学校全体の雰囲気落ち着いてきているのは事実です。しっかりした服装に対する意識や授業への集中力が高まっています。制服着用の趣旨にご理解、ご協力をお願いします。また、制服での登下校や制服で授業を受けることを基本としていますが、状況によって柔軟に対応しています。雨天時に体育着で雨がっぱを着て登校することは全く問題ありません。部活動の朝練習における対応と同様で、始業までに着替えればよいのです。

■部活動指導

「土日部活で休みがまったくない。」「生活における部活動の割合が多すぎる。」「学習時間も思うように取れず、疲れが見えて体調も心配。」「先生に休みを与えてほしい。部活をやりすぎです。」という意見がありました。これまでも説明してきましたが、あずま中の部活動の時間は他校と比べて特別に時間が長いということはありません。防犯のため日没に合わせて終了時刻を調整しているのも共通です。土日の活動については、半日程度の練習・練習試合とし、土日のどちらかは休みにする、両日とも活動した場合は平日に休みを取る、といった活動方針を基本としています。しかし、一定のレベル以上の技術や体力を身に付けるためには、それなりの厳しい練習が必要です。大会やコンクールで上位の成績を残すために練習時間が増えることがありますし、テスト前の部活中止期間でも若干の練習をする場合もあります。生徒が所属している部それぞれの特性についてご理解をいただくとともに、部の顧問と十分に連絡を取り合って協力していただけるとありがたいです。なお、今年度新たに職員による部活動検討委員会を設置し、あずま中の部活動の在り方について再検討して、生徒にとって過度の負担となることがないように、部活動の適正化を図ります。そして、生徒たちが部活動を通して充実感や満足感を味わい、心身ともに健全に成長することを願って活動を支援していきます。

■交通指導

登下校の道いっぱいに広がった並列走行や一時停止で止まらない危険な運転の指摘がありました。あずま中では年間複数回の交通安全指導を行い、生徒が交通事故の被害者にも加害者にもならないように、交通法規や交通マナーを指導しています。また、通学路の特に危険度が高い場所で、職員による登校指導を定期的に行っています。今年度は学校通信102号でお伝えした通り、登下校時の交通事故が多発しているので、生徒の自転車の乗り方や交通マナー、交通事故の事実や状況について、臨時で全校集会を開いて指導したり、学級担任が話をして注意を促したりしてきました。しかし、残念なことです。夏休み明けには交差点の飛び出しで車と衝突し、大けがを負う事故が起きてしまいました。このような事故が二度と起こらないように、これまでの指導の在り方を反省し、今後も家庭や地域と協力して生徒の安全を守るために努力していきます。お気付きの点をお知らせください。

■その他

学校のホームページやブログの更新について指摘する意見がありました。年度の変わり目はシステム環境や担当者の変更したりして、更新がおろそかになっていました。新年度の早い段階で必要な情報が見られるように改めます。ブログは、大きな行事の報告だけでなく、連絡メールを補完する使い方も始めてみました。いかがでしょうか。また、連絡メールについては、「学年通信などを配布した日に連絡メールを使って知らせしてほしい。」「学校メールをもっと使って知らせしてほしい。」などの意見がありました。学校からの情報がきちんと家庭へ届くように工夫していきます。



学校評価には、「学校が適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める」という目的もあります。保護者の皆さんにも、よりよい学校づくりという視点からあずま中の教育に積極的に関わってほしいです。本来ならば学校職員が保護者、地域住民と直接意見を交流して建設的な話し合いを持つことが理想ですが、学校評価アンケートや懇談会などの機会を有効に使う、あずま中をよりよい学校にしていきたいと考えています。